

平成29年度（2017年度）
京都市立芸術大学大学院音楽研究科修士課程入学試験問題
音楽学専攻 語学〔英語〕

以下のⅠ～Ⅲの問題のうち2問を選んで解答しなさい。
なお、解答用紙に自分が選んだ設問の番号を明記すること。

Ⅰ. 次の英文を日本語に訳しなさい。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみを
記載しています。

[出典 Timothy Rice/ Ethnomusicology: A Very Short
Introduction/, Oxford University Press, 2014, p.98.]

Ⅱ. 次の英文を日本語に訳しなさい。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみを記載しております。

[出典 Elliott Antokoletz, “Organic Expansion and Classical Structure in Bartók’s
Sonata for Two Pianos and Percussion,” in Bartók Perspectives, Man, Composer, &
Ethnomusicologist, edited by Elliott Antokoletz, Victoria Fischer, and Benjamin
Suchoff (Oxford: Oxford University Press, 2000), 77.]

Ⅲ. 以下の文章を読んで下記の設問 1～5 に答えよ。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみを記載しております。

[出典 Cook, N. D. (2009). Harmony perception: Harmoniousness is more than the sum of interval consonance. *Music Perception*, 27(1), 25-42.doi:10.1525/mp.2009.27.1.25]

1. 第 1 段落の和訳をせよ。
2. 下線部(a)の意味を単なる訳ではなく具体的に解説せよ。
3. 下線部(b)の表現の具体的な内容となる第 1 段落の部分の要約を書け。
4. 下線部(c)と同じ意味になるものを下記から選択せよ。
 - (a) before
 - (b) assuming that
 - (c) although
 - (d) in order that
5. 下線部(d)の意味を具体的に書け。

平成29年度（2017年度）
京都市立芸術大学大学院音楽研究科 修士課程 入学試験問題

音楽学 小論文

下記のⅠ、Ⅱの設問に答えなさい。

- I これまであなたは、どのような研究分野に関心をもってきましたか？
あなたが勉強あるいは研究してきた内容について、詳しく説明しなさい。

- II あなたが大学院で研究したいと考えているテーマについて、関心をもった動機、先行研究との関係、研究の方法と手順、期待できる研究成果等について、詳しく説明しなさい。